

2023年度業務実績報告書

提出日 2024年 1月 9日

1. 職名・氏名 教授・水谷 哲也

2. 学位 学位 博士、専門分野 内分泌学、授与機関 群馬大学、授与年 1999年3月

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 解剖生理学Ⅰ（2単位） 1年生
②内容・ねらい（自由記述） 人体の基本的な全体像および人体を構成する細胞、組織、骨、筋肉、体液と血液、呼吸器系、循環器系、泌尿器系の基本的構造とそれらがはたらくしくみについて学び、専門看護領域や病気の発症機構を理解する上で必要な基礎知識を習得する。さらに、人体の精巧で巧妙なしくみを理解し、その知識を将来活用できるようにすることがねらいである。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述） ・教科書と配布プリントを用いて、学生全員が必要事項を理解出来るよう解説した。特に重要な内容は繰り返し説明し、理解度を高めるようにした。 ・重要事項が明確になるよう、プリントへ記述できるように作成した。 ・講義ごとに理解度を確認するよう小テストを行った。 ・小テストでは意見や質問の欄を設け、個別の対応や意見のフィードバックを行った。
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 解剖生理学Ⅱ（2単位） 1年生
②内容・ねらい（自由記述） 人体における神経系、感覚器系、消化器系、内分泌系、生殖器系の基本的構造とそれらがはたらくしくみについて学び、専門看護領域や病気の発症機構を理解する上で必要な基礎知識を習得する。さらに、人体の精巧で巧妙なしくみを理解し、その知識を将来活用できるようにすることがねらいである。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述） ・教科書と配布プリントを用いて、学生全員が必要事項を理解出来るよう解説した。特に重要な内容は繰り返し説明し、理解度を高めるようにした。 ・重要事項が明確になるよう、プリントへ記述できるように作成した。 ・講義ごとに理解度を確認するよう小テストを行った。 ・福井大学医学部の人体解剖学実習見学に学生を参加させ、教科書だけでは分からない臓器の立体的な解剖学的理解を高め、生命の尊厳や倫理観を養った。
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 卒業研究（4単位） 4年生
②内容・ねらい（自由記述） 遺伝子発現に関する研究について、公共データベースを用いた網羅的な解析や基礎実験による発現解析を行い、その成果を論文にまとめる。この過程で科学的思考力や論理的思考力を養い実験技術や情報技術を習得する。さらに、人体の精巧で巧妙なしくみを理解しリサーチマインドを育むことがねらいである。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述） ・主体的に取り組めるよう、研究内容や進め方について話し合いを重ねながら進めた。 ・基礎科学研究に取り組むことで、研究遂行、研究発表および論文作成に関する基本的な考え方が身につくようにしている。

<p>①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 健康科学特論（2単位） 健康生活科学科 1年生 オムニバス講義</p>
<p>②内容・ねらい（自由記述） ガンを鑑別するバイオマーカーについて、自身が開発したバイオマーカーに関する内容や最新の知見を交えて紹介し、学位論文の作成に活かすことができる内容とする。</p>
<p>③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述） Zoom による遠隔授業を双方向的に行った。</p>
<p>①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 健康バイオマーカー演習（4単位） 健康生活科学科 1年生 オムニバス演習</p>
<p>②内容・ねらい（自由記述） 血液中のエクソソームを用いたバイオマーカーの開発について討論を行い、最新のバイオマーカーに関する知識を得ると共に論理的思考力を養う。</p>
<p>③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述） Zoom を用いて双方向的に行った。</p>
<p>(2)その他の教育活動</p>
<p>「解剖生理学 II」 福井県立看護専門学校 1年生 15コマ</p>
<p>「女性生殖機能」 福井大学医学部医学科 3年生 1コマ</p>
<p>「生体物質の代謝」 福井大学医学部医学科 2年生 2コマ</p>

4. 研究業績

(1)研究業績の公表	
① 著書	【0 本】
② 学術論文（査読あり） *1, YAP/TAZ-TEAD is a novel transcriptional regulator of genes encoding steroidogenic enzymes in rat granulosa cells and KGN cells. <u>Mizutani T</u> , Orisaka M, Kawabe S, Morichika R, Uesaka M, Yoshida Y. <i>Mol Cell Endocrinol.</i> 559: 111808, 2023 Jan. 2, Zinc deficiency is associated with the development of ovarian endometrial cysts. Onuma T, <u>Mizutani T</u> , Fujita Y, Ohgami N, Ohnuma S, Kato M, Yoshida Y. <i>Am J Cancer Res.</i> 13: 1049-1066, 2023 Mar.	【2 本】
③ その他論文（査読なし） 1, Hippo シグナルによる卵巣および胎盤の機能調節. <u>水谷 哲也</u> . 公益財団法人山口内分泌疾患研究振興財団「内分泌に関する最新情報」2023年5月	【1 本】
④ 学会発表等 Web 演題 *1, 顆粒膜細胞における YAP/TAZ-TEAD を介したステロイド代謝酵素遺伝子の発現調節メカニズム. 第 96 回日本内分泌学会学術総会（2023年6月）. <u>水谷 哲也</u> 、森近梨里子. ポスター発表 2, マウス羊水中のインヒビン、アクチビン. 第 47 回日本比較内分泌学会大会（2023年11月）. 安部由美子、小川典子、佐藤澄恵、櫻井玲依、青木亮太、 <u>水谷 哲也</u>	【2 件】
⑤ その他の公表実績	【0 本】
(2)科研費等の競争的資金獲得実績	
<p>【学外】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基盤研究（C）（代表） Hippo 経路による絨毛細胞の分化プロセス制御機構の解明とその応用. ・基盤研究（B）（分担） エクソソーム由来タンパク質をターゲットとした子宮肉腫治療への新しいアプローチ <p>【学内】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦略的課題研究推進支援（代表） 子宮体癌に対する新たな標的分子 YAP/TAZ の機能解析. ・KF 枠研究費（代表） 卵巣顆粒膜細胞の分化調節メカニズムの解明. 	
(3)特許等取得	
(4)学会活動等	
<ul style="list-style-type: none"> ・日本生殖内分泌学会 評議員 ・日本内分泌学会 評議員 ・日本ホルモンステーション 評議員 ・北信越畜産学会福井県分会 理事 	

5. 地域・社会貢献活動

<p>①-2 委員就任（県）</p> <ul style="list-style-type: none">・福井県畜産技術業績発表会 助言指導者（R6.3）・未来協働プラットフォームふくい 実行部門会議 5 「県内高等教育機関への進学、学部学科の再編、定員増」委員（R5.4～現在に至る） <p>⑥高校生向けの講座</p> <ul style="list-style-type: none">・未来協働プラットフォームふくい 実行部門会議 6「地域医療および看護分野の課題解決」 1日看護大学生体験 講義「解剖生理学で学ぶ循環器」 <p>⑦その他（名称、活動場所、活動期間）</p> <ul style="list-style-type: none">・福井大学客員教授（産科婦人科学）（H31.4～現在に至る）・福井大学遺伝子組換え実験安全委員会 委員（R2.4～現在に至る）

6. 大学運営への参画

(1)補職
(2)委員会・チーム活動
<ul style="list-style-type: none">・実験動物委員会 委員長（H31.4～現在に至る）・遺伝子組み換え実験安全委員会 委員（H31.4～現在に至る）・病原微生物実験委員会 委員（H31.4～現在に至る）・毒劇物管理部会 委員（H31.4～現在に至る）・入学試験本部 本部員（R3.4～現在に至る）・国際センター(仮称)準備委員会 委員（R5.4～現在に至る）・倫理小委員会 委員（R5.4～現在に至る）・フィンドレー大学国際交流 WG メンバー（R5.4～現在に至る）
(3)学内行事への参加
<ul style="list-style-type: none">・入試説明会 3件
(4)その他、自発的活動など